

特集配信企画「JFF+ INDEPENDENT CINEMA 2023」

～8月1日から、ミニシアターに焦点を当て、日本の映画文化の「いま」を世界に紹介～

URL : <https://jff.jpj.go.jp/watch/ic2023/>

国際交流基金（JF）は、2023年8月1日に、日本の映画文化を支える「ミニシアター」に焦点を当てた海外向け特集配信企画「JFF+ INDEPENDENT CINEMA 2023」をスタートします。

配信作品のラインナップには、日本各地のミニシアターや国際的に活躍する映画評論家/映画祭ディレクターから推薦を受けた映画が並びます。また、各ミニシアター関係者の想いやシアターのある街の様子を紹介する映像を制作し、配信します。日本の映画文化と地域文化の「いま」を多角的に紹介していきます。

本企画は、2022年12月15日から2023年6月15日にかけて実施した配信企画「JFF+ INDEPENDENT CINEMA」の続編です。前回の企画では、インドネシアや米国、オーストラリア、メキシコをはじめ、150以上の国・地域からアクセスがあり、10代後半から60代までの幅広い年齢層からの関心を集めました。視聴者からは好意的なコメントが多く寄せられ、海外のメディアにも配信作品が取り上げられる等の反響も見られました。

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 広報部（担当：熊倉、原田）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044

E-mail: press@jpf.go.jp

記

1. 事業概要

事業名称： JFF+ INDEPENDENT CINEMA 2023（ジエイエフエフプラス・インディペンデント・シネマ 2023）

主 催： 国際交流基金（JF）

協 力： 一般社団法人コミュニティシネマセンター

主な内容： 公式ウェブサイト、配信映画 12 作品、ミニシアター紹介映像 10 本

スケジュール：

2023 年 8 月 1 日（火）：配信映画及びミニシアター紹介映像の配信開始

2023 年 10 月 31 日（火）：配信映画の配信終了

※ウェブサイト及びミニシアター紹介映像はその後も継続公開

配信媒体： 公式ウェブサイト <https://jff.jp.go.jp/watch/ic2023/>

※日程・プログラムの内容は予告なく変更する場合があります

（1）ウェブサイト <https://jff.jp.go.jp/watch/ic2023/>

公開日時： 2023 年 8 月 1 日（火）17 時（日本時間） ※半永久的に公開します

掲載情報： 配信映画 12 作品の作品情報及び配信サイトへのリンク、ミニシアター情報及びミニシアター紹介映像へのリンク、関連記事へのリンク等

言 語： 日本語、英語

（2）配信映画

配信期間： 2023 年 8 月 1 日（火）17 時～2023 年 10 月 31 日（火）17 時（日本時間）

※一部作品は順次配信予定

配信作品： 日本映画 12 作品（うち、10 作品はミニシアター10 館から 1 作品ずつ推薦、2 作品は国際的に活躍する映画評論家/映画祭ディレクターより推薦）

配信地域： 日本を除く全世界（一部作品に対象外地域あり）

配信媒体： JF の関連ウェブサイト (<http://watch.jff.jp.go.jp>) 上で配信

視 聴： 無料（視聴には要ユーザー登録。日本からの視聴は不可）

字幕言語： 英語、スペイン語（中南米）、インドネシア語、タイ語、中国語（簡体）、中国語（繁体）（日本語音声で視聴可能）

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 広報部（担当：熊倉、原田）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044

E-mail: press@jpf.go.jp

配信作品一覧：



©HAKODATE CINEMA IRIS
[函館市民映画館シネマアイリス推薦]
『きみの鳥はうたえる』(2018年)
監督：三宅唱



©2021「光を追いかけて」製作委員会
[シネマ・デ・アエル推薦]
『光を追いかけて』(2021年)
監督：成田洋一



©2022 Tokyo New Cinema
[シネコヤ推薦]
『わたしの見ている世界が全て』
(2022年)
監督：左近圭太郎



『鬼と称せられた法隆寺の昭和火修理
薬師寺の伽藍復興に一生をかけた匠の生き』
千年先にいのちを繋ぐ
宮大工 西岡常一の遺言
山崎佑次監督作品 ナレーター 石橋蓮司
©『鬼に訊け』製作委員会
[深谷シネマ推薦]
『鬼に訊け 宮大工 西岡常一の遺言』(2012年)
監督：山崎佑次



©沖田修一
[上田映劇推薦]
『おーい!どんちゃん』(2022年)
監督：沖田修一



「なんで私なの?」「まんない柱になるよ。」
「それは私が決めたことだ。」
足りない色、足りない部品——。合わせてみたら、息できた。
©カプフィルム
[元町映画館推薦]
『ミュージスは溺れない』(2022年)
監督：浅雄望

配信作品一覧：



© 2022「左様なら今晩は」製作委員会
【シネマ尾道推薦】
『左様なら今晩は』(2022年)
監督：高橋名月



©空族
【jig theater 推薦】
『典座 -TENZO-』(2019年)
監督：富田克也



©唐津映画製作委員会/PSC 2017
【THEATER ENYA 推薦】
『花筐/HANAGATAMI』(2017年)
監督：大林宣彦



©2018 テレコムスタッフ
【桜坂劇場推薦】
『盆唄』(2019年)
監督：中江裕司



©大田原愚豚舎
【Mark Schilling 氏推薦】
『テクノブラザーズ』(2023年)
監督：渡辺紘文



©ばちらめん
【徐昊辰氏推薦】
『ばちらめん』(2021年)
監督：東盛あいか

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 広報部 (担当：熊倉、原田)

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044

E-mail: press@jpf.go.jp

(3) ミニシアター紹介映像（本事業にて制作したコンテンツ）

配信期間： 2023年8月1日17時（日本時間）

※一部映像は順次配信予定

※半永久的に配信します

配信映像： 各ミニシアター紹介映像10本（ミニシアター所在地域の紹介含む）

配信地域： 全世界

配信媒体： 公式YouTube <https://www.youtube.com/c/JAPANESEFILMFESTIVALPLUS/>

公式ウェブサイト <https://jff.jpff.go.jp/watch/ic2023/>

視 聴： 無料

字幕言語： 英語（日本語音声で視聴可能）

協力ミニシアター：

- ・函館市民映画館シネマアイリス（北海道函館市）
- ・シネマ・デ・アエル（岩手県宮古市）
- ・深谷シネマ（埼玉県深谷市）
- ・シネコヤ（神奈川県藤沢市）
- ・上田映劇（長野県上田市）
- ・元町映画館（兵庫県神戸市）
- ・jig theater（鳥取県東伯郡）
- ・シネマ尾道（広島県尾道市）
- ・THEATER ENYA（佐賀県唐津市）
- ・桜坂劇場（沖縄県那覇市）



函館市民映画館シネマアイリス（北海道函館市）



シネマ・デ・アエル（岩手県宮古市）



深谷シネマ（埼玉県深谷市）



シネコヤ（神奈川県藤沢市）

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 広報部（担当：熊倉、原田）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044

E-mail: press@jpf.go.jp



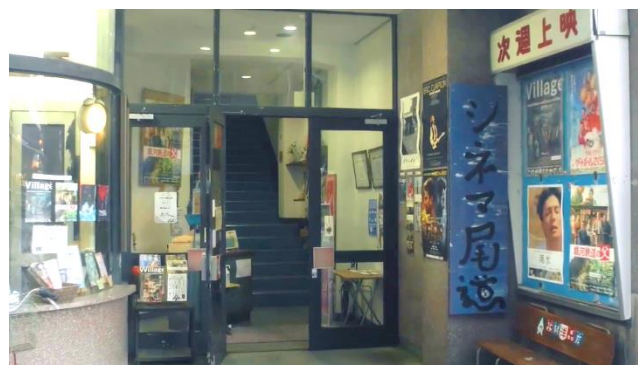
上田映劇（長野県上田市）



元町映画館（兵庫県神戸市）



jig theater（鳥取県東伯郡）



シネマ尾道（広島県尾道市）



THEATER ENYA（佐賀県唐津市）



桜坂劇場（沖縄県那覇市）

（４）その他制作コンテンツ

- ・国際的に活躍する映画評論家/映画祭ディレクター7名による寄稿記事（和英）

<https://jff.jp.go.jp/ja/read/column/japaneseindiefilms/>

国際的に活躍する映画評論家/映画祭ディレクター7名からオススメの日本のインディペンデント映画を紹介してもらう記事。そのうち2作品を本事業にて配信する。記事は日本映画発信ウェブサイト「JFF+」にて掲載し、特設ウェブサイトにてリンクを設置。

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 広報部（担当：熊倉、原田）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044

E-mail: press@jpf.go.jp

3. その他

(1) その他のオンライン配信イベント：JAPANESE FILM FESTIVAL ONLINE



「オンライン日本映画祭（JFF ONLINE：JAPANESE FILM FESTIVAL ONLINE）」は、最新作からドキュメンタリー、アニメ、クラシックまで、幅広いラインナップで日本映画を配信するオンライン映画祭。前回の2022年では、世界25か国を対象に、10言語以上の字幕をつけ、日本映画20作品を無料ストリーミング配信しました。現在、次回開催にむけて準備中です。乞うご期待！

(2) 世界各国のオンサイト日本映画祭：JAPANESE FILM FESTIVAL



「日本映画祭（JFF：JAPANESE FILM FESTIVAL）」は、JFが日本映画の新作を中心に各地で上映する映画祭。「いつでも、どこでも日本映画」をキャッチフレーズに、2016年にASEAN10か国とオーストラリアを対象に開始。以後、中国、ロシア、インド、ブラジル等へとネットワークを拡大し、日本映画の魅力の世界へと発信し続けています。

(3) 日本映画の情報発信ウェブサイト：JFF+ <https://jff.jpff.go.jp/>



JFが世界に向けて日本映画を紹介する日本映画発信ウェブサイト。「JFF+ INDEPENDENT CINEMA」及び「オンライン日本映画祭（JFF ONLINE：JAPANESE FILM FESTIVAL ONLINE）」といった特集配信企画や日本映画に関する記事、JFが実施する映画事業の紹介等、様々なコンテンツを通じて、日本映画との接点を提供しています。

(4) 主催・運営：独立行政法人国際交流基金（The Japan Foundation）<https://www.jpff.go.jp/>



国際交流基金（JF）は、総合的に国際文化交流を実施する日本で唯一の専門機関です。1972年に外務省所管の特殊法人として設立され、2003年10月1日に独立行政法人となりました。日本の友人をふやし、世界との絆をはぐむため、「文化」と「言語」と「対話」を通じて日本と世界をつなぐ場をつくり、人々の間に共感や信頼、好意を育てていきます。

国際交流基金には、本部（東京）のほか、世界25か国26拠点と国内に2つの附属機関（日本語国際センター、関西国際センター）と1つの支部（京都）があります。

以上

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 広報部（担当：熊倉、原田）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044

E-mail: press@jpff.go.jp